

2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2023年7月28日

上場会社名 日鉄ソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2327 URL <https://www.nssol.nipponsteel.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 玉置 和彦
 問合せ先責任者（役職名） 財務部長（氏名） 小松 英樹 (TEL) 03-6899-6000
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	68,773	5.6	6,581	1.5	6,875	3.4	4,022	△7.6	10,015	—
2023年3月期第1四半期	65,132	△0.6	6,484	△11.9	6,652	△12.7	4,352	△8.4	△5,784	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	43.97	—
2023年3月期第1四半期	47.57	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	325,638	213,841	206,654	63.5
2023年3月期	319,908	207,800	200,523	62.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	3.9	14,000	△0.0	14,300	0.4	9,400	0.0	102.75
通期	305,000	4.6	33,500	5.5	34,000	5.9	22,800	3.6	249.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	91,501,000株	2023年3月期	91,501,000株
2024年3月期1Q	18,091株	2023年3月期	4,845株
2024年3月期1Q	91,487,671株	2023年3月期1Q	91,492,073株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかに回復しておりますが、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクがあり、先行き不透明な状況が続いております。また、物価上昇、供給面での制約、金融市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

企業収益は総じてみれば緩やかに改善しており、顧客企業におけるシステム投資につきましては、緩やかな増加となりました。

当社グループは、2021-2025年度中期事業方針（2021年4月公表）に基づき、「デジタル製造業」「プラットフォーム支援」「デジタルワークスペースソリューション」「ITアウトソーシング」の4領域について事業成長を牽引する「注力領域」として定め、お客様のDX推進に伴うニーズを最大限に獲得し、事業拡大に取り組んでおります。

お客様のDX推進への取り組みとして、飲料メーカーの製造出荷プロセスに、需要予測業務の効率化・高度化を推進する「AI需要予測システム」を導入したほか、教育機関向けには、1995年から全国100校以上の学校に提供している学校事務システム「CampusSquare（キャンパススクエア）」の定額利用サービスとして、「CampusSquare S Edition」の提供を開始いたしました。加えて、本年5月にAIスタートアップ企業である㈱エクサウィザーズと業務提携を行い、同社の有する商材の販売・提供やお客様のDX推進のコンサルティングを通じた対応領域の拡大、実行力の強化を図っております。

また、仮想デスクトップサービス「M³DaaS@absonne（エムキューブダース・アット・アブソンヌ）」が「DaaS」の「市場占有率」にて10年連続で1位を獲得（株式会社富士キメラ総研「2023クラウドコンピューティングの現状と将来展望」より）、電子取引・契約サービス「CONTRACTHUB（コントラクトハブ）」の累計文書登録件数が2023年4月末に3,000万件を突破する等、注力領域の成長に努めております。

サステナビリティ経営の推進にあたっては、当社が目指す社会的存在意義であるパーパスを起点に価値創造プロセスを整理し、5つのマテリアリティを定め、取り組んでおります。当社はD&I推進をはじめ、誰もが生き活きと働きがいをもって活躍できる組織風土醸成に取り組んでおり、昨年に引き続き「東京レインボープライド2023」に賛同し協賛する等、豊かな社会づくりに向けてESGの観点から様々な事業活動に取り組んでおります。これらの取り組みの結果、ESG投資のための株価指数である「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」及び「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に引き続き選定されました。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、インターネットプラットフォームやメガバンク及び日本製鉄㈱向けの増により、68,773百万円と前年同期（65,132百万円）と比べ3,640百万円の増収となりました。営業利益は、売上総利益率の改善も含め売上総利益の増があったものの、営業力強化や社内基盤整備等を前倒して実行したことにより販売費及び一般管理費が増加したことから、6,581百万円と前年同期（6,484百万円）と比べ96百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末319,908百万円から5,730百万円増加し、325,638百万円となりました。主な内訳は、現金及び現金同等物の増加11,007百万円、棚卸資産の増加9,374百万円、契約資産の増加5,490百万円、その他の金融資産の増加4,733百万円、営業債権及びその他の債権の減少△24,329百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末112,108百万円から△310百万円減少し、111,797百万円となりました。主な内訳は、その他の流動負債に含まれる未払賞与の減少△5,535百万円、営業債務及びその他の債務の減少△3,493百万円、未払法人所得税等の減少△3,271百万円、契約負債の増加12,262百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末207,800百万円から6,040百万円増加し、213,841百万円となりました。主な内訳は、四半期利益4,195百万円、その他の包括利益5,819百万円、配当金の支払△3,659百万円、自己株式の取得△51百万円等です。その結果、親会社所有者帰属持分比率は63.5%となりました。

②キャッシュ・フロー

(キャッシュ・フロー計算書)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、112,330百万円となりました。前第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額が△490百万円であったのに対し、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額は11,007百万円になりました。各活動区分別には以下のとおりであります。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

前第1四半期連結累計期間は、税引前四半期利益6,652百万円、減価償却費及び償却費3,102百万円、営業債権及びその他の債権の増減額14,733百万円、契約資産の増減額△3,100百万円、棚卸資産の増減額△6,470百万円、営業債務及びその他の債務の増減額6,152百万円、未払賞与の増減額△5,142百万円、法人所得税等の支払額△6,185百万円等により6,477百万円となりました。一方、当第1四半期連結累計期間は、税引前四半期利益6,875百万円、減価償却費及び償却費3,022百万円、営業債権及びその他の債権の増減額23,450百万円、契約資産の増減額△5,483百万円、棚卸資産の増減額△9,356百万円、営業債務及びその他の債務の増減額11,237百万円、未払賞与の増減額△5,536百万円、法人所得税等の支払額△6,525百万円等により14,275百万円となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

前第1四半期連結累計期間は、その他の金融資産の取得による支出△2,229百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出△1,253百万円、その他の金融資産の売却及び償還による収入2,036百万円等により△1,507百万円となりました。一方、当第1四半期連結累計期間は、その他の金融資産の売却及び償還による収入4,632百万円、その他の金融資産の取得による支出△1,142百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出△1,130百万円等により2,604百万円となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

前第1四半期連結累計期間は、配当金の支払額△3,294百万円、リース負債の返済による支払額△2,040百万円等により△5,592百万円となりました。一方、当第1四半期連結累計期間は、配当金の支払額△3,659百万円、リース負債の返済による支払額△1,947百万円等により△5,922百万円となりました。

(資本の財源、資金の流動性に係る情報)

1) 基本方針

当社グループは将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。

そのため、進展するDXニーズの着実な取り込み、高付加価値事業と総合的な企業価値の持続的向上、優秀な人材の獲得・育成の一層の強化、内部統制・リスクマネジメント徹底の継続等による事業成長に伴う資金需要及び広域災害等の事業リスクに備えて内部留保を確保するとともに、利益配分につきましては株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当等を行うことを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

2) 資金需要及び資金調達の内容

当社グループの主要な資金需要は、材料費、外注費、労務費、経費、販売費及び一般管理費等の営業費用並びに設備投資等であり、これらの資金需要につきましては自己資金により充当しております。

手許の運転資金につきましては、当社及び一部の国内子会社において当社のキャッシュマネジメントシステム(CMS)を導入することにより、各社における余剰資金を当社へ集中し、一元管理をしております。また、当社は、日本製鉄㈱のCMSを利用しており、当第1四半期連結会計期間末における預入額105,069百万円を現金及び現金同等物に含めて表示しております。

突発的な資金需要に対しては、大手各行及び親会社である日本製鉄㈱に対し当座借越枠を確保することにより、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想(2023年4月28日)から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	101,322	112,330
営業債権及びその他の債権	65,822	41,492
契約資産	14,059	19,549
棚卸資産	21,526	30,901
その他の金融資産	2,472	1,234
その他の流動資産	2,180	3,121
流動資産合計	207,383	208,630
非流動資産		
有形固定資産	18,661	18,327
使用権資産	24,939	23,658
のれん	2,923	2,923
無形資産	3,731	3,867
持分法で会計処理されている投資	181	172
その他の金融資産	58,132	64,103
繰延税金資産	3,814	3,829
その他の非流動資産	141	125
非流動資産合計	112,525	117,008
資産合計	319,908	325,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	24,656	21,162
契約負債	16,282	28,544
リース負債	7,242	7,095
その他の金融負債	1,145	3,926
未払法人所得税等	6,445	3,173
引当金	526	496
その他の流動負債	16,320	7,365
流動負債合計	72,619	71,765
非流動負債		
リース負債	17,786	16,598
その他の金融負債	216	106
退職給付に係る負債	10,944	11,102
引当金	3,111	3,065
繰延税金負債	3,352	5,082
その他の非流動負債	4,077	4,078
非流動負債合計	39,489	40,032
負債合計	112,108	111,797
資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	9,951	9,951
利益剰余金	153,016	155,075
自己株式	△17	△69
その他の資本の構成要素	24,620	28,743
親会社の所有者に帰属する持分合計	200,523	206,654
非支配持分	7,277	7,187
資本合計	207,800	213,841
負債及び資本合計	319,908	325,638

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	65,132	68,773
売上原価	△50,360	△52,653
売上総利益	14,771	16,120
販売費及び一般管理費	△8,280	△9,566
持分法による投資損益	△9	△8
その他収益	27	54
その他費用	△24	△18
営業利益	6,484	6,581
金融収益	283	322
金融費用	△116	△29
税引前四半期利益	6,652	6,875
法人所得税費用	△2,225	△2,679
四半期利益	4,426	4,195
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,352	4,022
非支配持分	74	172
1株当たり親会社の普通株主に帰属する四半期利益 基本的1株当たり四半期利益(円)	47.57	43.97

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	4,426	4,195
その他の包括利益 (税効果考慮後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債 (資産) の純額の再測定	△40	△0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	△10,345	5,754
純損益に振り替えられることのない項目合計	△10,386	5,754
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	175	65
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	175	65
その他の包括利益 (税効果考慮後) 合計	△10,211	5,819
四半期包括利益合計	△5,784	10,015
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	△5,863	9,841
非支配持分	78	173

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2022年4月1日時点の残高	12,952	9,950	134,844	△2	39,892	-
四半期利益	-	-	4,352	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△10,345	△40
四半期包括利益合計	-	-	4,352	-	△10,345	△40
剰余金の配当	-	-	△3,294	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△49	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	621	-	△661	40
所有者との取引額等合計	-	-	△2,672	△49	△661	40
2022年6月30日時点の残高	12,952	9,950	136,524	△52	28,884	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
2022年4月1日時点の残高	193	40,086	197,831	6,738	204,569
四半期利益	-	-	4,352	74	4,426
その他の包括利益	170	△10,215	△10,215	4	△10,211
四半期包括利益合計	170	△10,215	△5,863	78	△5,784
剰余金の配当	-	-	△3,294	△207	△3,501
自己株式の取得	-	-	△49	-	△49
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	△621	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	△621	△3,343	△207	△3,551
2022年6月30日時点の残高	364	29,249	188,623	6,609	195,233

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2023年4月1日時点の残高	12,952	9,951	153,016	△17	24,159	-
四半期利益	-	-	4,022	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	5,754	△0
四半期包括利益合計	-	-	4,022	-	5,754	△0
剰余金の配当	-	-	△3,659	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△51	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	1,696	-	△1,696	0
所有者との取引額等合計	-	-	△1,963	△51	△1,696	0
2023年6月30日時点の残高	12,952	9,951	155,075	△69	28,217	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
2023年4月1日時点の残高	460	24,620	200,523	7,277	207,800
四半期利益	-	-	4,022	172	4,195
その他の包括利益	64	5,818	5,818	1	5,819
四半期包括利益合計	64	5,818	9,841	173	10,015
剰余金の配当	-	-	△3,659	△263	△3,923
自己株式の取得	-	-	△51	-	△51
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	△1,696	-	-	-
所有者との取引額等合計	-	△1,696	△3,711	△263	△3,974
2023年6月30日時点の残高	525	28,743	206,654	7,187	213,841

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,652	6,875
減価償却費及び償却費	3,102	3,022
受取利息	△62	△65
受取配当金	△172	△160
支払利息	27	21
持分法による投資損益(△は益)	9	8
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	14,733	23,450
契約資産の増減額(△は増加)	△3,100	△5,483
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,470	△9,356
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	6,152	11,237
未払賞与の増減額(△は減少)	△5,142	△5,536
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,965	△3,297
その他	△312	△123
小計	12,451	20,591
利息の受取額	75	70
配当金の受取額	163	160
利息の支払額	△27	△21
法人所得税等の支払額	△6,185	△6,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,477	14,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43	-
定期預金の払出による収入	-	252
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△1,253	△1,130
その他の金融資産の取得による支出	△2,229	△1,142
その他の金融資産の売却及び償還による収入	2,036	4,632
その他	△17	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,507	2,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支払額	△2,040	△1,947
配当金の支払額	△3,294	△3,659
非支配持分への配当金の支払額	△207	△263
自己株式の取得による支出	△49	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,592	△5,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	49
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△490	11,007
現金及び現金同等物の期首残高	95,706	101,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,215	112,330

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。